

集合型開催

第29回愛媛NST研究会

日時: 2024年6月1日(土)14:00~17:20

会場: 松山市総合コミュニティセンター 3階 大会議室 (定員150名)

〒790-0012 愛媛県松山市湊町7丁目5番地 Tel:089-921-8222

参加費: 500円

【情報提供】 14:00~14:15

「イノラス配合経腸用液について」(株)大塚製薬工場 岩淵 紀彦

【一般演題】 14:15~15:05

座長 : 愛媛県立中央病院 糖尿病・内分泌内科 戎井 理 先生

1 「経管栄養となった悪性リンパ腫の患者に対し、多職種介入および本人の訴えを尊重した結果、
経口移行に対し成功した一例」
市立大洲病院 栄養管理室 藤原 のぞみ 先生

2 「流動食に配合される脂質量と食物繊維ペクチンの特性の違いがラットの便性状に及ぼす影響」
株式会社大塚製薬工場 MF研究所 三木 裕加里 先生

3 「覚醒状態に合わせた経口摂取訓練により経管栄養離脱に至った透析患者の一症例」
南松山病院 栄養管理室 管理栄養士 黒田 彩歌 先生

4 「胃瘻造設後の食事に対する患者の思い」
十全総合病院 看護部 佐光 麻維 先生

5 「SGLT2阻害剤投与後に約20kg体重減少したサルコイドーシスの一例」
愛媛県立中央病院 糖尿病・内分泌内科 戎井 理 先生

休憩 15:05 ~ 15:15

特別講演 I 15:15~16:00

座長: 南松山病院 外科 副院長 児島 洋 先生

『形成外科と褥瘡治療の紹介』

演者: 南松山病院 形成外科 野澤 竜太 先生

休憩 16:00~16:10

特別講演 II 16:10~17:10

座長 : 愛媛大学大学院医学系研究科 地域生活習慣病・内分泌学講座
教授 松浦 文三 先生

『ともに創る 病態栄養の未来』

演者: 市立川崎病院 病態栄養治療部長 津村 和大 先生

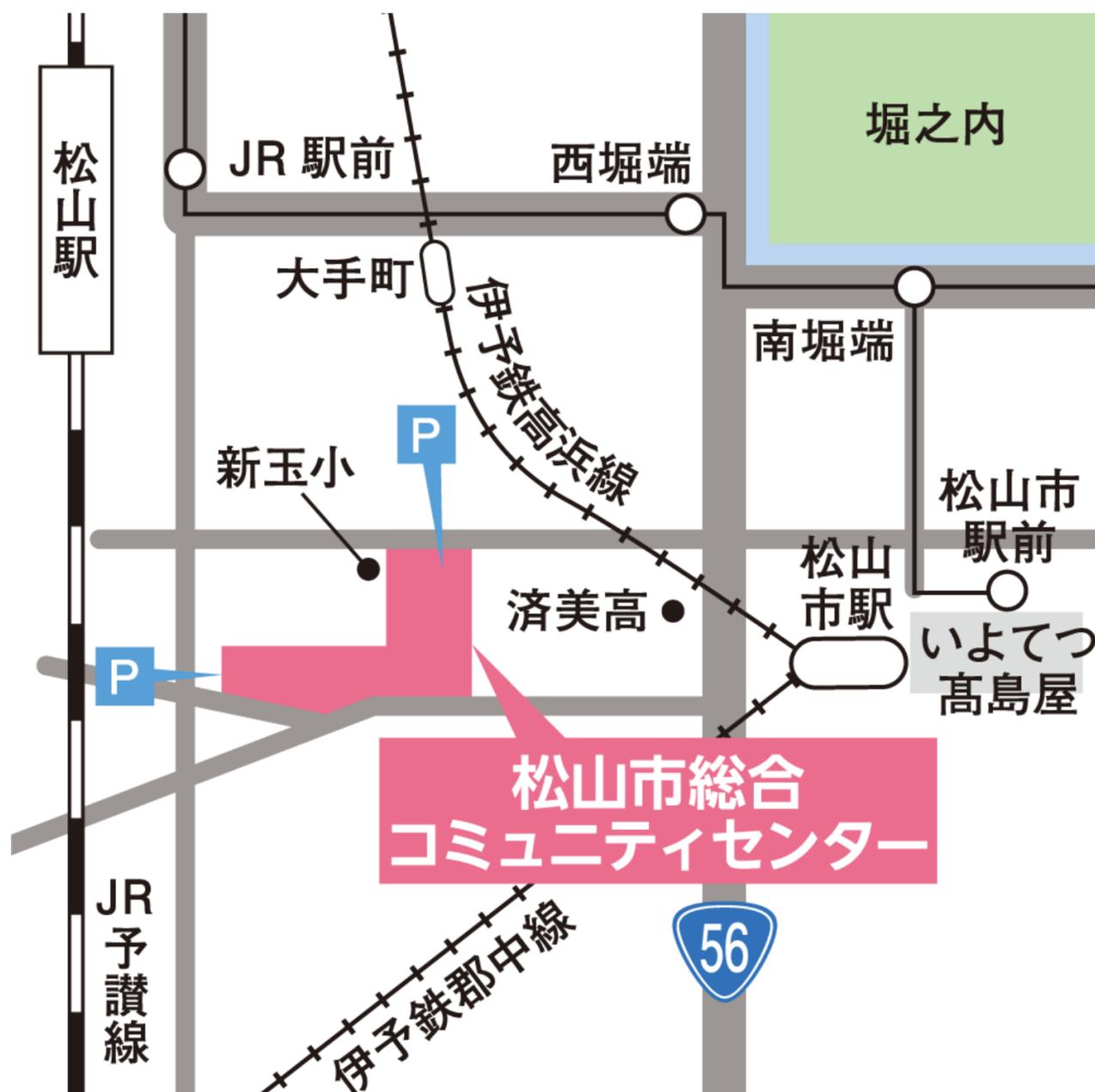
閉会の辞 愛媛大学大学院医学系研究科 地域生活習慣病・内分泌学講座 教授 松浦 文三 先生

日本病態栄養学会 (NSTコーディネーター認定として1単位認定)、日本糖尿病療養指導士 (0.5単位 I群:認定)

日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士 認定制度 2単位認定

共催: 愛媛NST研究会 / 株式会社大塚製薬工場

会場へのアクセス情報



- 松山市駅から
伊予鉄バス（JR松山駅前行）または（津田団地前行）約3分
↳松山コミュニティセンター前で下車
- JR松山駅から
伊予鉄バス（久米駅前行）約2分
↳松山コミュニティセンター前で下車
- 伊予鉄電車
高浜線（大手町駅）から徒歩約7分

駐車場

体育館地下駐車場 （東駐車場）	95台（3,087平方メートル／身障者用2台） 高さ制限：200cm
企画展示ホール 地下駐車場（西駐車場）	149台（5,803平方メートル／身障者用2台） 高さ制限：220cm

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社大塚製薬工場 徳島営業所 2課 松山担当
メール：iwabuchin@otsuka.jp